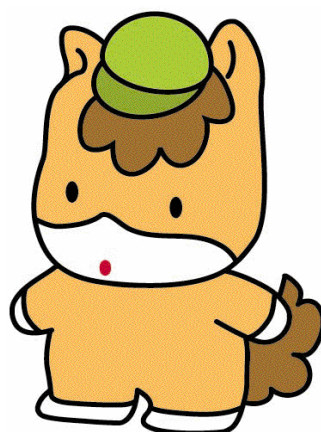


この検査はなあ～に？

- 血液検査・尿検査 -

？ ！



分類	検査項目	略称	検査値の意味
肝機能	総蛋白	TP	栄養状態や肝機能、腎機能の指標となります。
	アルブミン	ALB	栄養状態や肝臓の状態を知ることができます。
	総ビリルビン	T-Bil	肝胆道疾患で黄疸の見られるとき高値となります。また、体質的にも高い人がいます。
	直接ビリルビン	D-BIL	肝疾患の診断、黄疸の鑑別などに用いられます。
	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST (GOT)	肝臓の異常に敏感に反応する酵素で、肝臓疾患（急性肝炎や慢性肝炎）等で増加します。
	アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT (GPT)	
	ロイシンアミノペプチダーゼ	LAP	黄疸の鑑別や肝・胆道系疾患の診断、経過観察などに用いられます。
	γグルタミルトランスアミナーゼ	-GP (γ-GTP)	慢性肝炎、胆道疾患、アルコールや薬物による肝障害、脂肪肝などで高値を示します。
	アルカリフォスファターゼ	ALP	肝障害、胆汁うっ滞や骨疾患、妊娠等で増加します。
	コリンエステラーゼ	ChE	肝疾患、血液疾患、消耗性疾患などで低値を示し、ネフローゼ、脂肪肝などで高値となります。
乳酸脱水素酵素	LDH	ほとんどの組織や臓器に分布する酵素で、貧血、炎症、腫瘍など汎用的なスクリーニング検査として用いられます。	
腎機能	クレアチニン	Crea	腎機能障害の程度を知ることができます。
	尿素窒素	BUN	腎機能の指標として広く利用され、腎不全、熱傷、消化管出血や高蛋白食摂取で増加します。
	尿酸	UA	腎機能障害や痛風などの時に上昇します。
筋肉	クレアチンキナーゼ	CPK (CK)	筋炎、心筋梗塞などで高値となります。また激しい運動後も高値を示すことがあります。
膵臓	アミラーゼ	AMY	膵臓の状態や膵炎などの疾病、唾液腺の疾病を知ることができます。
糖尿病	血糖（グルコース）	BS (GLU)	糖尿病の診断に使います。
	ヘモグロビンA1c	HbA1c	過去1～2か月間の血糖の状態を反映し、糖尿病の程度や治療効果に用います。
脂質	総コレステロール	T-Chol	動脈硬化や心臓病などの診断や予防のための指標として用いられます。
	中性脂肪	TG	食べ過ぎ、飲酒、肥満、糖尿病、脂肪肝、内分泌疾患などで高値となります。
	高比重リポ蛋白-コレステロール	HDL-Chol	「善玉コレステロール」と呼ばれ、低値の場合は動脈硬化を促進するといわれ、注意が必要です。
	低比重リポ蛋白-コレステロール	LDL-Chol	「悪玉コレステロール」と呼ばれ、高値は冠動脈疾患の危険因子となります。

分類	検査項目	略称	検査値の意味
電解質	ナトリウム	Na	水分平衡、浸透圧の調節などに重要な役割を果たしています。
	カリウム	K	Naと反対に主として細胞内液に多く存在します。神経や筋肉の興奮性に関与し、特に心筋に大きな影響を及ぼします。
	クロール	Cl	ナトリウムとともに体内の水分調節に重要な役割を果たしています。
	カルシウム	Ca	骨代謝だけではなく筋収縮、血液凝固にも必須な物質です。
	無機リン	IP	カルシウムとともに骨の重要な構成成分です。また、細胞膜やエネルギー代謝の成分として重要な働きをしています。
炎症反応・血液腫瘍・貧血	C反応性蛋白	CRP	急性の炎症や組織の損傷、膠原病などで増加します。
	白血球数	WBC	感染や炎症性疾患、白血病を含む血液疾患の有無を調べます。
	好塩基球	NE-Baso	白血球の成分を調べ、血液疾患や感染症などの病気の有無を調べます。
	好酸球	NE-Eosino	
	リンパ球	NE-Lympho	
	単球	NE-Mono	
	顆粒球	NE-Neutr	
	赤血球数	RBC	赤血球数が減ると酸素の運搬能力が低下し、貧血が起こります。
	血色素量	Hb	赤血球中に存在する赤い色素で、貧血の程度を調べます。
	ヘマトクリット	Ht	全血液のうちの赤血球の割合を示し、貧血の程度を調べます。
	平均赤血球容積	MCV	貧血、多血症の診断に用いられる基本的な検査です。
	平均赤血球血色素量	MCH	
	平均赤血球血色素濃度	MCHC	
	血小板数	Plt	出血傾向の発見と、肝臓病の経過観察に役立ちます。
	鉄	Fe	血液中の鉄分の量で、鉄欠乏性貧血の時に減少します。
フェリチン	フェリチン	貯蔵鉄量の指標になります。	
不飽和鉄結合能	UIBC	鉄輸送蛋白の鉄が結合していない部分で、鉄結合予備能を表します。	
総鉄結合能	TIBC	不飽和鉄結合能と血清鉄の量をあわせたもので、間接的にトランスフェリンの量を鉄の量に換算して表しています。	
凝固	活性化部分トロンボプラスチン時間	APTT	内因性凝固活性の指標です。PTとともに出血性素因の疑われる患者でスクリーニングに用いられます。
	プロトロンビン時間	PT	外因性凝固活性を総合的に判定する指標です。
	プロトロンビン時間国際標準化比	INR	
	トロンボテスト	TT	抗凝固剤（ワーファリン）投与時のモニタリングに用いられます。

分類	検査項目	略称	検査値の意味
検尿	尿蛋白定性	尿-蛋白定性	腎臓病の発見のための検査です。
	尿糖定性	尿-糖定性	糖尿病の可能性の有無を知る目安とします。
	尿潜血反応	尿-潜血反応	腎臓病や結石、膀胱炎の時に尿に血液が混じります。
	尿ウロビリノーゲン	尿-ウロビリ	肝機能障害の時に陽性になります。
ホルモン	インスリン	インスリン	インスリン分泌能と同時に末梢組織のインスリン感受性を反映し、糖尿病あるいは耐糖能障害の病態を評価します。
	甲状腺刺激ホルモン	TSH	下垂体前葉より分泌され、甲状腺ホルモンの分泌を調節しています。
	遊離トリヨードサイロニン	FT3	体のほとんどの臓器に運ばれ細胞を活気づける甲状腺ホルモンの一種で、生体の甲状腺機能状態を知る指標として重要です。
	遊離サイロキシン	FT4	
	レニン活性	レニン活性	腎臓の傍糸球体細胞で産生される酵素。体液を保持し、血圧を維持します。二次性高血圧症の診断に役立ちます。
	コルチゾール	コルチゾール	血糖、血圧、疲労、肥満、骨粗鬆症、脱水などに関わる下垂体や副腎の働きが正常かを確認するための検査です。
	アルドステロン	アルドステロン	血圧、電解質調節に関わる腎臓・副腎の働きが正常かどうかを確認するための検査です。
	カテコラミン 3 分画	カテコラミンF3 アドレナリン、ノルアドレナリン、ドーパミン	主に脳、副腎髄質および交感神経に存在する昇圧作用を持つホルモンです。褐色細胞腫で高値を示します。
	脳性ナトリウム利尿ペプチド	BNP	心臓の心室より分泌され、利尿作用・血管拡張作用を持つホルモンです。心不全および心疾患の病態把握に有用です。
	ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド	HANP	腎臓に働いて利尿を促進すると同時に末梢血管を拡張して血圧降下作用があります。心房の圧や体液量を反映します。
アンギオテンシン転換酵素	ACE	アンジオテンシン を に変換する酵素。サルコイドーシスで高値になります。	
KL-6	KL-6	間質性肺炎の活動性の指標として、または線維化性肺疾患の存在を確認するため検査です。	
腫瘍マーカー	癌胎児性抗原	CEA	消化管の悪性腫瘍を中心に、もっとも汎用的に用いられる血中腫瘍マーカーです。
	-フェトプロテイン	AFP	肝細胞癌で上昇する、本来は胎児肝細胞由来の血清腫瘍マーカーです。肝炎や肝硬変でも軽度～中等度上昇します。
	ニューロン特異エノラーゼ	NSE	肺小細胞癌、神経芽細胞腫、神経内分泌系腫瘍の診断と経過観察に有用な血中腫瘍マーカーです。
	扁平上皮癌関連抗原	SCC抗原	子宮頸部、肺、食道、頭頸部、尿路・性器、皮膚などの各扁平上皮癌で高値となる血清腫瘍マーカーです。
	CA 19-9	CA 19-9	膵癌、胆道癌をはじめとする各種消化器癌で上昇する血中腫瘍マーカー。
	前立腺特異抗原	PSA	前立腺癌で著明に増加する血中腫瘍マーカーです。前立腺肥大でも上昇します。